

## 「口腔がん悪性化を制御する新規因子の解析」にご協力いただく方への説明書

### (1) 研究の概要について

研究課題名：口腔がん悪性化を制御する新規因子の解析

承認番号： 第 D2018-087 番

研究期間： 歯学系倫理審査委員会承認後から 2028 年 3 月 31 日

研究責任者：東京科学大学大学院医歯学総合研究科  
病態生化学分野 井上 カタジナ アンナ

### (2) 研究の意義・目的について

口腔がんは日本国内において全がんの 1%を占め、その数は現在も増え続けています。口腔がんの 90%を占める扁平上皮がんの原因および治療法の研究は、歯学領域において最重要課題のひとつとなっています。がんの進展や転移に、上皮間葉移行という現象が重要な役割を果たしていることが報告されています。本研究では、口腔がんの悪性化の原因となる上皮間葉移行を抑制することでがんの進展や転移を防ぐ、新たな治療法の開発を目指します。

### (3) 研究の方法について

本研究に使用する試料は 2000 年から 2017 年までの間に東京科学大学病院において、顎口腔領域に発生した口腔がんと診断が確定した患者さんを対象とします。病理検査目的で作成され、当院で保管されているパラフィン包埋試料より切片を作製し、免疫染色を行い、顕微鏡にて確認します。これらの結果と臨床情報(年齢、性別、予後及び病理学的分類)を統計学的に解析します。

### (4) 試料等の保管と、他の研究への利用について

本研究に使用する試料および情報は本学規定に則り、厳重に管理・保管します。本研究によって患者さんの個人情報外部に漏れることはありません。また、本研究の成果を他の研究で二次的に利用することはありません。

### (5) 予測される結果(利益・不利益)について

本研究で用いる検体は治療及び診断を行う上で採取された標本の一部を用いるため、本研究の実施により研究対象者には新たに生じる身体的危険や不利益は生じません。

### (6) 研究協力の任意性と撤回の自由について

本研究への参加は患者さんの任意となっています。ご自身およびご家族等が、過去の診療データや保管している試料を使用してほしくない場合は下記までご連絡ください。研究不参加を申し出られた場合でも、何ら不利益は受けることはありません。また、一旦研究参加のご承諾をいただいた後でも、いつでも撤回することが出来ます。撤回された場合には、あなたの情報はすみやかに廃棄し、研究には利用致しません。

(7) 個人情報の保護について

本研究に関わる研究者は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。研究対象者の個人情報保護のため、個々の研究対象者の識別には研究対象者識別コードを用い、研究対象者の個人情報を保護します。

(8) 研究成果の公表について

本研究の成果は、国内外の学会および学術雑誌で発表されますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

(9) 研究資金および利益相反について

本研究は大学の運営費及び日本医療研究開発機構（AMED）の受託研究費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、利益相反マネジメント委員会に申告を行い、承認されています。利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。本研究において謝礼にかかる費用は発生しません。

(10) 問い合わせ等の連絡先：

研究者連絡先：東京科学大学 大学院 医歯学総合研究科  
病態生化学分野 井上 カタジナ アンナ  
〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45  
03-5803-5449 (ダイヤル) (対応可能時間帯：平日 9:00～17:00)

苦情窓口：東京科学大学研究推進部研究基盤推進課生命倫理グループ  
03-5803-4547 (対応可能時間帯：平日 9:00～17:00)